

# 令和2年度事業報告書

令和3年3月31日

一般社団法人 日本歯科専門医機構

1. 旧役員

一般社団法人日本歯科専門医機構 役員名簿（任期：令和2年定時社員総会終結時まで）

役職	氏名	所属
理事長	住友 雅人	日本歯科大学名誉教授
副理事長	柳川 忠廣	公益社団法人日本歯科医師会副会長
〃	鳥山 佳則	東京歯科大学教授
業務執行理事 (総務担当)	今井 裕	獨協医科大学名誉教授
業務執行理事 (会計担当)	木本 茂成	神奈川歯科大学教授
理事	宮脇 卓也	岡山大学教授
〃	古郷 幹彦	大阪大学教授
〃	浅海 淳一	岡山大学教授
〃	栗原 英見	広島大学教授
〃	松村 英雄	日本大学教授
〃	井上 孝	東京医学技術専門学校
〃	豊田 郁子	患者・家族と医療をつなぐ NPO 法人 架け橋 理事長
監事	横山 敏秀	永松・横山法律事務所
〃	根ヶ山光一	早稲田大学教授

顧問弁護士	丸山 高人	永松・横山法律事務所
-------	-------	------------

## 2. 新役員

一般社団法人日本歯科専門医機構 役員名簿（任期：令和2年定時社員総会から）

役 職	氏名	所 属
理事長	今井 裕	獨協医科大学名誉教授
副理事長	柳川 忠廣	公益社団法人日本歯科医師会副会長
副理事長	鳥山 佳則	東京歯科大学短期大学学長
業務執行理事 (総務担当)	伊藤 孝訓	日本大学特任教授
業務執行理事 (会計担当)	木本 茂成	神奈川歯科大学教授
理事	浅海 淳一	岡山大学教授
理事	古郷 幹彦	大阪大学教授
理事	砂田 勝久	日本歯科大学教授
理事	豊田 郁子	患者・家族と医療をつなぐNPO 法人 架け橋 理事長
理事	松村 英雄	日本大学教授
理事	丸川 珠代	参議院議員※
理事	宮脇 正和	医療過誤原告の会・会長
理事	村上 伸也	大阪大学教授
監事	永井 裕之	医療の良心を守る市民の会
監事	横山 敏秀	永松・横山法律事務所

※国務大臣就任により、令和3年3月辞任の申し入れ。

顧問弁護士	丸山 高人	永松・横山法律事務所
-------	-------	------------

### 3. 社員学会

定款5条, 6条, 入退社に関する規程に基づき昨年に引続き社員の募集を行った。  
社員数は今年度入社がなく現状維持の28団体である。

一般社団法人日本歯科専門医機構 社員名簿

No.	団体名	入社日
1	公益社団法人 日本歯科医師会	平成30年4月2日
2	一般社団法人 日本歯科医学会連合	平成30年4月2日
3	一般社団法人 日本歯科麻酔学会	平成30年4月2日
4	一般社団法人 日本顎関節学会	平成30年9月12日
5	一般社団法人 日本レーザー歯学会	平成30年9月12日
6	一般社団法人 日本歯内療法学会	平成30年9月12日
7	一般社団法人 日本障害者歯科学会	平成30年9月20日
8	公益社団法人 日本口腔インプラント学会	平成30年9月26日
9	一般社団法人 日本有病者歯科医療学会	平成30年9月27日
10	公益社団法人 日本口腔外科学会	平成30年9月28日
11	公益社団法人 日本補綴歯科学会	平成30年9月28日
12	特定非営利活動法人 日本歯科放射線学会	平成30年10月3日
13	公益社団法人 日本顎顔面インプラント学会	平成30年11月1日
14	一般社団法人 日本歯科医療管理学会	平成30年11月1日
15	公益社団法人 日本小児歯科学会	平成30年11月8日
16	一般社団法人 日本口腔腫瘍学会	平成30年11月15日
17	一般社団法人 日本歯科医学教育学会	平成30年11月30日
18	特定非営利活動法人 日本歯科保存学会	平成30年11月30日
19	一般社団法人 日本口腔診断学会	平成30年12月10日
20	特定非営利活動法人 日本歯周病学会	平成30年12月13日
21	一般社団法人 日本歯科審美学会	平成30年12月13日
22	特定非営利活動法人 日本顎咬合学会	平成30年12月18日
23	一般社団法人 日本老年歯科医学会	平成31年1月17日
24	一般社団法人 日本接着歯学会	平成31年1月21日
25	特定非営利活動法人 日本臨床歯周病学会	平成31年3月28日
26	一般社団法人 日本口腔衛生学会	平成31年3月28日
27	一般社団法人 日本歯科薬物療法学会	平成31年4月19日
28	公益社団法人 日本矯正歯科学会	令和元年7月24日

#### 4. 社員総会の開催

定時社員総会（令和2年6月17日）

- ・令和2年度決算（案）について
- ・令和2年度事業および収支決算の監査について
- ・役員を選任について

臨時社員総会（令和3年3月4日）

- ・令和3年度予算について
- ・令和3年度事業計画について

#### 5. 理事会の開催

第1回理事会（令和2年6月1日）

- ・2019年度事業報告（案）について
- ・2019年度決算（案）について
- ・2019年度事業および収支決算の監査について
- ・令和2年度定時社員総会開催について
- ・次期役員選任（案）について
- ・歯科専門医制度等に係る認証について

第2回理事会（令和2年6月17日）

- ・仮議長の選任
- ・理事長の選任
- ・副理事長の・業務執行理事の選定
- ・各種委員会委員長・委員の選任

第3回理事会（令和2年7月2日）

- ・業務執行理事の選定
- ・各委員会委員長・委員の選任
- ・各理事の担当委員会の決定
- ・個人情報保護方針について
- ・歯科専門医の登録システムについて

第4回理事会（令和2年10月1日）

- ・利益相反管理規程（案）について
- ・利益相反管理委員会の設置について
- ・運用審査について・今後の会務運営について

第5回理事会メール会議（令和2年10月16日）

- ・「歯周病専門医制度」運用審査について
- ・「小児歯科専門医制度」運用審査について

第6回理事会（令和2年10月30日）

- ・本年度の予算組み直しについて
- ・利益相反管理規程に関する細則（案）について

- ・研修施設に関する情報提供について
- ・日本歯科専門医機構におけるIDについて
- ・総務委員会の組織編成について
- ・IT広報委員会の設置ならびに委員会規程（案）について
- ・総務委員会規程（案）について
- ・総務委員会ならびにIT広報委員会について

第7回理事会メール会議（令和2年10月30日）

- ・厚生労働省委託事業「歯科医療の専門性に関する協議・検証一式」に関する臨時委員会設立について

第8回理事会（令和3年2月17日）

- ・令和3年度事業計画（案）について
- ・令和3年度予算（案）について
- ・臨時社員総会の招集について

第9回理事会（令和3年3月4日）

- ・運用審査について
- ・丸川理事の五輪担当大臣就任に伴う対応について

第10回理事会メール会議（令和3年3月17日）

- ・運用審査について（公益社団法人 日本口腔外科学会）

## 6. 委員会の設置と委員会の開催

本年度には、新たにIT広報委員会が設置された。また、各委員会の委員が選任された。

### 1) 専門医申請学会評価認定委員会

#### (1) 委員会名簿

- 担当理事：浅海淳一（岡山大学教授）
- 担当理事：古郷幹彦（大阪大学教授）
- 委員長：木村博人（弘前医療福祉大学教授）
- 副委員長：安井利一（明海大学学長）
- 委員：青木孝文（東北大学副学長・工学部教授）
- 委員：宮崎 隆（昭和大学副学長）
- 委員：佐藤真奈美（日本歯科医師会理事）
- 委員：石 和久（昭和メディカルサイエンス）
- 委員：武井典子（公益社団法人日本歯科衛生士会会長）

#### (2) 委員会の開催

- 令和2年9月30日 第1回評価認定委員会
- 令和2年10月9日 第2回評価認定委員会
- 令和3年2月12日 第3回評価認定委員会
- 令和3年2月15日 第4回評価認定委員会

### 2) 共通研修評価認定小委員会

(1) 委員会業務

① 共通研修の審査及び認定を行う

(2) 委員会名簿

委員長：丸山高人（顧問弁護士）

副委員長：木村博人（弘前医療福祉大学教授）

委員：秋山仁志（日本歯科大学生命歯学部教授）

委員：佐藤真奈美（日本歯科医師会役員）

委員：佐藤裕二（昭和大学教授）

委員：深井穂博（深井歯科医院院長）

(3) 委員会の開催

令和2年9月28日

・「共通研修」認定申請書のフォームの改訂

令和3年1月15日

・社員学会から申請された申請書の審査

3) 専門医制度整備委員会

(1) 委員会名簿

担当理事：村上伸也（大阪大学教授）

担当理事：松村英雄（日本大学歯学部教授）

担当理事：宮脇正和（医療過誤原告の会）

委員長：市川哲雄（徳島大学教授）

副委員長：藤井一維（日本歯科大学学長）

副委員長：木村博人（弘前医療福祉大学教授）

委員：勝村久司（医療情報の公開・開示を求める市民の会）

委員：依田哲也（東京医科歯科大学歯学部長）

この委員会メンバーとして小委員会の委員長・副委員長が加わる。

(2) 委員会開催

令和3年3月19日

・歯科専門医機構が認定する専門医の制度設計の基本方針について

・歯科専門医制度基本整備指針について

4) 共通研修企画実施小委員会

(1) 委員会業務

① 共通研修基準の策定

② 当法人が主催する共通研修の実施及び本委員会の諮問した事項の検討を行う。

(2) 委員会名簿

委員長：飯島毅彦（昭和大学歯学部教授）

副委員長：尾崎哲則（日本大学歯学部教授）

委員：市川哲雄（徳島大学教授）

委員：岡崎恵一郎（日本歯科医師会学術委員会委員長）

委員：鳥山佳則（東京歯科大学短期大学学長）

委員：原田浩之（東京医科歯科大学教授）

委員：北村知昭（九州歯科大学教授）

委員：大川周治（明海大学教授）

### (3) 委員会の開催

令和2年11月5日

- ・当機構主催共通研修の企画・実施について

令和2年12月9日

- ・講師・研修内容について
- ・受講料について
- ・講師謝礼について
- ・申請方法ならびに申請者のデータ管理
- ・受講確認方法について

令和3年1月13日

- ・機構主催共通研修の実施について

## 5) 新規専門医制度小委員会

### (1) 委員会業務

- ①新規専門医制度小委員会は、専門医制度に関する諸問題の検討、歯科医師の生涯研修の将来構想の策定、新規専門医制度の検討及び本委員会の諮問した事項の検討を行う。

### (2) 委員会名簿

委員長：一戸達也（東京歯科大学教授）

副委員長：伊藤孝訓（日本大学特任教授）

委員：村上伸也（大阪大学教授）

委員：尾松素樹（日本歯科医師会常務理事）

委員：秋山仁志（日本歯科大学生命歯学部教授）

委員：吉田直美（日本歯科衛生学会会長）

## 6) 学会専門医小委員会

### (1) 委員会の業務

- ①学会専門医小委員会は、既存の専門医制度の移行に関する基本的基準の検討及び本委員会の諮問した事項の検討を行う。

### (2) 委員会名簿

委員長：藤井一維（日本歯科大学学長）

副委員長：片山繁樹（日本歯科医療管理学会副理事長）

委員：嶋田昌彦（東京医科歯科大学名誉教授）

委員：金田 隆（日本大学松戸歯学部教授）

委員：齋藤 功（新潟大学教授）

委員：水上美樹（日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック）



委員：依田哲也（東京医科歯科大学歯学部長）

## 7) 専門医制度総務委員会

### (1) 委員会の業務

- ①当法人の運営及び内部管理に係る諸規定の整備に関する事項
- ②当法人の会計及び事務局の管理運営に関する事項
- ③他の委員会に対する支援及び補佐に関する事項

### (2) 委員会名簿

担当理事：砂田勝久

委員長：丸山高人（永松・横山法律事務所）

委員：黒岩昭弘（朝日大学教授）

委員：清水典佳（日本大学特任教授）

委員：新谷誠康（東京歯科大学教授）

委員：立澤敦子（日本歯科衛生学会幹事長）

### (3) 委員会の開催

令和2年9月28日

- ・機構共通ID
- ・研修施設に関する情報データベース

令和3年2月4日

- ・総務委員会とIT委員会の業務分担

## 8) IT広報委員会

### (1) 委員会の業務

- ①当法人認定専門医及び研修施設等に関する情報の管理及び運用
- ②専門医制度に関わる情報収集及び蓄積とデータベースの構築
- ③広報活動に関する業務（ホームページの開設管理を含む）
- ④国民及び医療関係者への情報提供及び啓発活動

### (2) 委員会名簿

担当理事：豊田郁子

委員長：石井信之（神奈川歯科大学教授）

委員：飯田征二（岡山大学教授）

委員：大多和由美（東京歯科大学教授）

委員：丸山高人（永松・横山法律事務所）

委員：若尾樹（若尾歯科医院副院長）

### (3) 委員会開催

令和3年2月4日

- ・IT委員会と総務委員会の業務分担

## 9) 在り方委員会

### (1) 委員会名簿

委員長：藤井一維（日本歯科大学学長）

副委員長：丸山高人（永松・横山法律事務所，顧問弁護士）

委員：浅海淳一（岡山大学教授）

委員：木本茂成（神奈川歯科大学教授）

委員：古郷幹彦（大阪大学教授）

委員：砂田勝久（日本歯科大学教授）

委員：村上伸也（大阪大学教授）

## (2)委員会開催

令和2年11月5日

- ・委員長の互選について
- ・今後の運営方針について

令和2年12月11日

- ・2021年度予算編成について
- ・歯科専門医機構が認定する専門医の制度設計の基本方針について
- ・歯科専門医制度基本整備指針について

令和3年2月18日

- ・財政とガバナンス

## 10)特別委員会（厚生労働省委託事業委員会）

### (1)委員会の業務

- ①今後の歯科医療の提供およびその体制を見据えて、歯科医療の専門性を、とくに歯科保存，補綴歯科，総合歯科について協議，検証した。
- ②日本歯科専門医機構における歯科専門制度の整備状況を確認しながら，歯科専門医の意義と責務を国民の目線，歯科提供者側の目線，学会側の目線の3者の立場から協議，検証を行った。
- ③国民に信頼される専門医制度の質の担保についても日本歯科専門医機構，歯科提供者側，学会側の観点から協議，検証を行った。
- ④シームレスな歯科医師養成における歯科専門医制度の位置づけを卒前教育，卒後研修，大学院教育，生涯研修の立場からも協議，検証した。

### (2)委員会名簿

委員長：市川哲雄（徳島大学教授）

副委員長：丸山高人（永松・横山法律事務所 弁護士）

委員：石井信之（神奈川歯科大学教授）

委員：一戸達也（東京歯科大学教授）

委員：伊藤孝訓（日本大学特任教授）（一社）日本歯科専門医機構総務理事

委員：上田貴之（東京歯科大学教授）

委員：大川周治（明海大学歯学部教授）

委員：木村博人（弘前医療福祉大学教授）

委員：豊田郁子（患者・家族と医療をつなぐNPO法人架け橋理事長）

委員：柳川忠廣（日本歯科医師会副会長）

### (3) 委員会の開催

令和2年12月3日

- ・今後の委託事業の進め方について

令和3年2月18日

- ・厚生労働省委託事業報告書の確認

令和3年3月24日

- ・厚生労働省委託事業報告書の最終確認

## 7. 規程の整備

令和2年度に次の規程を改正した

- ① 一般社団法人日本歯科専門医機構役員の報酬に関する規程（令和2年6月1日改定）
- ② 個人情報保護方針（令和2年7月日制定）
- ③ 一般社団法人日本歯科専門医機構利益相反管理規程（令和2年10月1日制定）
- ④ 一般社団法人日本歯科専門医機構利益相反管理委員会規程（令和2年10月1日制定）
- ⑤ 一般社団法人日本歯科専門医機構利益相反管理規程に関する細則（令和2年10月30日制定）

## 8. 専門医制度等に係る認証について

- ・令和2年6月1日の理事会で（特非）日本歯周病学会，（公社）日本小児歯科学会，（特非）日本歯科放射線学会及び（公社）日本口腔外科学会の専門医制度が承認され認証された。
- ・令和2年6月1日の理事会で（一社）日本歯科麻酔学会の2019年度の運用審査が認証された。
- ・令和2年9月30日に第1回評価委員会が開催され，令和2年10月1日の理事会で（特非）日本歯科放射線学会と（公社）日本口腔外科学会の2019年度の運用審査が承認された。
- ・令和2年10月9日に第2回評価委員会が開催され，令和2年10月16日の理事会で（特非）日本歯周病学会，（公社）日本小児歯科学会の2019年度の運用審査が承認された。
- ・令和3年3月4日の理事会で（一社）日本科麻酔学会，（特非）日本歯周病学会，（公社）日本小児歯科学会，（特非）日本歯科放射線学会の2020年度の運用審査が承認された。
- ・令和3年3月17日の理事会で（公社）日本口腔外科学会2020年度の運用審査が承認された。

## 9. 共通研修について

### 1) 共通項目の研修内容

現在共通研修として，下記に示す医療倫理，感染対策，医療安全の3つの必須項目と地域医療，隣接医学・医療，医療関連法規，医療経済などの選択項目に分けられている。

- A. 必修項目：いずれの専門医の新規申請および更新申請時において，必ず履修することが求められる項目

#### (1) 医療倫理：

医療倫理の基本，臨床上の倫理課題，患者・医療者関係の構築（インフォームド・コンセント，個人情報の保護同意力とコミュニケーションを含む），関連法規の遵守，医療広

告，法と倫理等.

(2) 医療安全：

患者へのリスクの要因と防止，医療事故発生時の安全の確保（救急処置を含む）等.

(3) 院内感染対策：

標準予防策（スタンダード・プレコーション），感染経路と予防法の理解と基本対策，歯科用器材の滅菌と消毒等.

B. 選択項目：各専門医の新規申請および更新申請時において，履修することが望ましい項目で，各学会が定めるもの

(1) 地域医療，地域包括ケアシステム：

がん医科歯科連携，多職種連携，周術期口腔健康管理等.

(2) 隣接医学・医療：

がん治療の最前線，糖尿病・脳血管障害，骨粗鬆症・認知症その他医科歯科連携において必要とされる高頻度疾患の病態と診療ガイドライン等.

(3) 医療関連法規，医療経済：

医療法・歯科医師法・歯科衛生士法・歯科技工士法，健康保険法，介護保険法，薬事法，感染症法，医療事故・副作用への対処（公的補償制度被害補償等），医療福祉制度等.

(4) その他：

医療倫理，医療安全，院内感染対策，救急処置における高度な内容.

2) 機構主催共通研修の実施

令和2年4月1日から共通研修が義務付けられているが，各学会への連絡不備や新型コロナの影響で事業の遅延により，実施が遅れているため，機構にて急遽，Web研修を策定し，実施した.

開催期日：令和3年2月10日（水）午前9時から3月31日（水）午後6時まで視聴可能

開催方法：Web配信による講演

申込件数：1,844件

受講講義数：3,453

テーマと講師

領域	テーマ/キーワード	講師
医療倫理 (1単位)	「プロフェッショナリズムと生命倫理・臨床倫理」 日本大学教授 尾崎 哲則 先生 ・プロフェッションとは ・オートノミーとは・医療倫理とは ・臨床での応用	
医療安全① (1単位)	「歯科治療時における安全の確保」 日本歯科大学准教授 石垣 佳希 先生 ・医療安全とは ・リスク要因と防止・医療事故発生時の対応 ・救急処置	
医療安全②	「歯科における重大事故への対応と実態に関する最近の知見」	

(1 単位)	鶴見大学教授 佐藤 慶太 先生 ・医療の安全の確保 ・歯科医療事故死 ・医療事故調査制度
院内感染 (1 単位)	「院内感染対策」 東京歯科大学講師 半田 俊之 先生 ・標準予防策 ・感染経路と予防法 ・抗菌薬の適正使用

### 3) 学会主催共通研修の実施

これまで本機構が承認・実施した各学会主催の共通研修の一覧である。

	主催団体	開催日時	研修区分	題 目
1	日本歯科麻酔学会	令和2年 7月5日	Ⅱ②隣接医学・医療	閉塞性肺疾患の基礎と周術期のポイント (茂木孝：臨床呼吸器疾患研究所)
2	日本歯科麻酔学会	令和2年 7月5日	I①医療倫理	医療安全・医療倫理 (佐久間泰司：大阪歯科大学)
3	日本歯科麻酔学会	令和2年 10月10日	Ⅱ②その他	重度認知症患者の歯科治療時の管理 (森本佳成：神奈川歯科大学)
4	日本歯周病学会	令和2年 10月16日	I①医療倫理	研究倫理・規制の最新動向と歯科医療に必要な留意点(栗原千絵子：量子科学技術研究開発機構)
5	日本歯周病学会	令和2年 10月16日	I①医療倫理	日常臨床におけるデータ収集と管理の重要性(辰巳順一：朝日大学)
6	日本歯科放射線学会	令和2年 10月31日	I②医療安全	低線量放射線の生体影響の解明 (小林純也：国際量福祉大学)
7	日本歯科放射線学会	令和2年 10月31日	Ⅱ②隣接医学・医療	ガンマナイフ定位放射線手術：黎明期～現在，そして今後の展開(四方聖二：相澤病院)
8	日本口腔外科学会	令和3年 3月4日～ 4月5日 (Web)	I①医療倫理	医療安全の立場からの臨床倫理(中村京太：大阪大学)
9	日本口腔外科学会	令和3年 3月4日～ 4月5日 (Web)	I②医療安全	医療安全の基本(北村温美：大阪大学)

#### 10. 日本歯科専門医機構における新たな歯科専門領域のための意見交換会について

##### 1) 社員学会との意見交換

(1)8月7日(金)日本補綴歯科学会 大川周治理事長

- (2)8月18日(火) 日本歯科医学会連合 松村英雄副理事長,  
石井信之歯科専門医制度委員会副委員長
- (3)8月20日(木) 日本歯内療法学会 宇井和彦前理事長, 佐久間克哉副理事長
- (4)8月27日(木) 日本口腔腫瘍学会 桐田忠昭理事長
- (5)8月27日(木) 日本口腔衛生学会 深井穫博先生, 大内章嗣先生
- (6)8月27日(木) 日本歯科放射線学会 勝又明敏副理事長, 林 孝文理事(教育・学術担当),  
倉林亨理事(財務担当), 並河宏樹事務局
- (7)8月28日(金) 日本歯周病学会 齋藤淳庶務担当理事, 吉成伸夫専門医委員会委員長,  
山本松男認定医委員会委員長, 陪席者 村上伸也理事長, 中村聡事務局
- (8)9月10日(木) 日本老年歯科医学会 水口俊介理事長, 上田貴之常任理事
- (9)9月16日(水) 日本顎咬合学会理事会・Web会議に今井理事長が参加
- (10)9月24日(木) 日本歯科審美学会 奈良陽一郎理事長, 坪田有史副理事長,  
山本一世副理事長
- (11)10月15日(木) 日本接着歯学会 奈良陽一郎理事長, 坪田有史副理事長,  
山本一世副理事長, 大槻昌幸理事・総務担当, 加藤正治理事・専門医担当
- (12)10月15日(木) 日本歯科審美学会 藤澤政紀理事長, 大槻昌幸副理事長,  
越智守生認定医委員会委員長
- (13)10月23日(金) 日本障害者歯科学会 弘中祥司理事長, 野本たかと副理事長,  
小笠原正専門医委員会委員長, 大多和由美認定医委員会委員長
- (14)12月3日(木) 日本口腔衛生学会(第2回) 深井穫博先生, 大内章嗣先生
- (15)12月9日(水) 日本矯正歯科学会会議で 今井理事長が講演(Web)
- (16)12月17日(木) 日本歯科医療管理学会 尾崎哲則理事長, 中村勝文副理事長,  
柴崎博一専務
- (17)12月17日(木) 日本口腔インプラント学会と日本顎顔面インプラント学会とのWeb会議
- (18)12月18日(金) 日本歯科保存学会常任理事会に今井理事長がWeb参加
- (19)令和3年2月5日(木) 顎咬合学会との面談

## 2) 新たな歯科専門領域に連携する学会との意見交換

専門医に連携する社員学会, 開催日, 出席団体を記す.

### (1) インプラント歯科専門医(仮称)について

連携希望学会: 日本口腔インプラント学会・日本顎顔面インプラント学会・  
日本臨床歯周病学会・日本歯科薬物療法学会

日 程 : 第1回: 令和2年9月10日(木) 午後4時00分~4時45分  
第2回: 令和2年10月27日(木) 午後3時30分~4時30分  
第3回: 令和2年11月26日(木) 午後1時00分~2時00分  
第4回: 令和3年1月21日(木) 午後4時00分~5時00分

場 所 : 当機構事務局・Web会議(ハイブリッド)

出席団体 : 日本口腔インプラント学会・日本顎顔面インプラント学会・

日本臨床歯周病学会・日本補綴歯科学会・日本歯科医師会・  
日本歯科医学会連合

打ち合わせ 第1回：令和2年12月17日（木）午後3時30分～4時30分

第2回：令和3年2月24日（木）午後3時00分～4時00分

場 所 : 当機構事務局・Web会議（ハイブリッド）

出席団体 : 日本口腔インプラント学会・日本顎顔面インプラント学会のみが対象

#### (2) 矯正歯科専門医（仮称）について

連携希望学会：日本矯正歯科学会，他4関連団体（社員学会ではない）

日 程 : 第1回：令和2年9月10日（木）午後5時15分～6時00分

第2回：令和2年10月28日（水）午後2時00分～3時00分

第3回：令和2年11月26日（木）午後3時30分～4時30分

第4回：令和2年12月17日（木）午後3時30分～4時30分

第5回：令和3年1月28日（木）午後4時30分～5時30分

第6回：令和3年2月25日（木）午後3時45分～4時45分

第7回：令和3年3月30日（火）午後3時30分～4時30分

場 所 : 当機構事務局・Web会議（ハイブリッド）

出席団体 : 日本矯正歯科学会・日本歯科医師会・日本歯科医学会連合

#### (3) 歯科保存専門医（仮称）について

連携希望学会：日本歯科保存学会・日本歯内療法学会・日本接着歯学会

日 程 : 第1回：令和2年9月18日（金）午後1時30分～2時30分

第2回：令和2年10月30日（金）午後2時00分～3時00分

第3回：令和2年12月10日（木）午後2時30分～3時30分

第4回：令和3年1月28日（木）午後3時00分～4時00分

第5回：令和3年2月25日（木）午後1時30分～2時30分

場 所 : 当機構事務局・Web会議（ハイブリッド）

出席団体 : 日本歯科保存学会・日本歯内療法学会・日本接着歯学会・日本歯科医師会・  
日本歯科医学会連合

#### (4) 補綴歯科専門医（仮称）について

連携希望学会：日本補綴歯科学会・日本顎咬合学会・日本顎関節学会

日 程 : 第1回：令和2年9月18日（金）午後3時00分～4時00分

第2回：令和2年10月30日（金）午後3時30分～4時30分

第3回：令和2年12月11日（金）午後2時00分～3時00分

第4回：令和3年1月20日（水）午後12時00分～13時00分

第5回：令和3年2月25日（木）午後2時30分～3時30分

第6回：令和3年3月30日（火）午後2時00分～3時00分

場 所 : 当機構事務局・Web会議（ハイブリッド）

出席団体 : 日本補綴歯科学会・日本顎咬合学会・日本顎関節学会・日本歯科医師会・  
日本歯科医学会連合

(5) 総合歯科診療専門医（仮称）について

連携希望学会：日本歯科医学会連合・日本顎関節学会・日本レーザー歯学会・  
日本障害者歯科学会・日本口腔インプラント学会・  
日本有病者歯科医療学会・日本歯科医療管理学会・日本歯科保存学会・  
日本口腔診断学会・日本歯科審美学会・日本老年歯科医学会・  
日本歯科薬物療法学会

日 程 : 第1回：令和2年9月25日（金）午後2時00分～3時30分

第2回：令和2年11月5日（木）午後1時30分～3時00分

第3回：令和2年12月10日（木）午後4時00分～5時30分

第4回：令和3年1月21日（木）午後2時00分～3時30分

場 所 : 当機構事務局・Web会議（ハイブリッド）

出席団体 : 日本顎関節学会・日本レーザー歯学会・日本障害者歯科学会・  
日本口腔インプラント学会・日本有病者歯科医療学会・日本歯科保存学会・  
日本補綴歯科学会・日本歯科医療管理学会・日本口腔診断学会・  
日本歯科審美学会・日本老年歯科医学会・日本口腔衛生学会・  
日本歯科薬物療法学会・日本歯科医師会・日本歯科医学会連合

打ち合わせ会：第1回：令和3年2月24日（木）午後4時30分～5時30分

場 所 : 当機構事務局・Web会議（ハイブリッド）

出席団体 : 日本障害者歯科学会・日本有病者歯科医療学会・日本老年歯科医学会のみが  
対象



## 令和2年度 事業報告（総括）

今年度の主な課題

1. 広告可能な5つの機構認証歯科専門医
2. 新たな歯科専門領域
3. 共通研修
4. 歯科専門医の広報活動
5. 財政とガバナンス
6. 歯科専門医のデータベース（管理システム）
7. 関連団体との連携協力
8. 事務局の体制

以上について、進捗状況を報告する。

### 1. 広告可能な5つの機構認証歯科専門医

日本歯科専門医機構認証「歯科専門医制度」の運用審査方針に従って審査した結果、第1号：日本歯科麻酔学会（令和2年6月1日）、第2号：日本歯周病学会（令和2年10月23日）、第3号：日本小児歯科学会（令和2年10月23日）第4号：日本歯科放射線学会（令和2年10月1日）ならびに、第5号：日本口腔外科学会（令和2年10月1日）が認証された。運用審査後、2019年機構認証歯科専門医、2020年機構認証歯科専門医が認証された。なお、各学会に対して制度上・運用上の問題点を指摘し、早急な改善を求めている。現在、2021年の運用審査の募集が計画されている。

### 2. 新たな歯科専門領域

歯科保存専門医（仮称）、補綴歯科専門医（仮称）、矯正歯科専門医（仮称）、インプラント歯科専門医（仮称）、および総合歯科専門医（仮称）の創設に取り組み、意見交換会を重ねている。期日、回数については、前述記載された通りである。

進捗状況については、

- (1) 歯科保存専門医（仮称）は、歯科保存専門性が示され、提案された案を基本にさらなる協議を重ねている。
- (2) 補綴歯科専門医（仮称）は、補綴歯科の専門性について協議し、次いで、専門医の研修要件、研修施設の基準、連携する学術団体との在り方について検討している。
- (3) 矯正歯科専門医（仮称）は、専門医の研修要件、研修施設の基準に次いで、3学会の連携の仕方を検討している。なお、社員学会以外の学術団体の取り扱いについて機構の基本的な考えを伝えている。
- (4) インプラント歯科専門医（仮称）は、主要関連2学会における専門医の研修要件、研修施設について検証している。今後、具体的な事前審査（仮称）の実施へ向けた協議を行う予定である。

- (5) 総合歯科専門医（仮称）は、超高齢社会で求められている医学的配慮が必要なハイリスク患者の対応として、3学会（障害者歯科、有病者歯科、老年歯科）が対応することが決まり、新たな専門性を創設するための協議がはじまった。特に、それぞれの学会の特性を生かした連携の仕方を協議している。また、上記の専門性とは異なるゲートキーパー的な歯科医師の養成も必要であり、今後日本歯科医師会と連携し協議を進める必要があることも併せて協議している。

### 3. 共通研修

共通研修の基本的考えは、社会から求められている医療人として具有すべき基本姿勢・態度・知識、すなわち、患者を全人的に理解し、患者・家族と良好な人間関係を確立するために、患者・家族のニーズを身体・心理・社会的側面から把握し、ともに納得できる医療を行うために安心・安全な対応ができる能力である。共通研修項目について5年間で10単位を課している。

学会主催共通研修は7月2日より始まり、これまでに9つの研修が開催され、現在もその他の研修が申請されている。学会以外の団体からの申請が出されたが、受講管理に問題があるので検討している。機構主催共通研修は、令和3年2月10日（水）午前9時から3月31日（水）午後6時までの間にWebセミナーを開催し、1,984件の視聴があった。今後も継続的な研修開催が望まれる。

### 4. 歯科専門医制度等の広報活動について

これまでの総務委員会を2つに分け、新たにIT広報委員会を設けた。現ホームページの改修、機構認証専門医の周知のための新たなWebを作成する等、課題を処理している。しかし、歯科における専門性の意義に関しての説明が国民向けには不十分で、広報活動が今後の課題である。

### 5. 財政とガバナンス

当初の基金で運用しているが、現状の財政状況では、第三者機関として持続可能かつ自律的な運用が困難と思われ、現在、機構の財政的基盤を担っている広告可能な5つの専門領域に次ぐ、新たな歯科専門領域（歯科専門医）の創設が必須である。今回、機構主催共通研修へ多くの方が参加されたが、次年度以降は各団体独自で研修会が開催されることが予想されるため、機構主催研修会への参加を期待することは難しいと思われ、他の財源確保が今後の課題である。

ガバナンスについては、理事会、社員総会、各種委員会の相互関係は組織図において明らかで、議事概要もホームページ上に記載されて透明性を担保している。また、利益相反管理規定、個人情報保護方針等にて、セキュリティ等も担保されている。

### 6. 歯科専門医のデータベース（管理システム）

歯科専門医の状況、更には歯科医療の在り方を検討するための情報としてデータの蓄積が必要であること、また、機構認証歯科専門医情報を公開するにあたり、データベースを構築し管理する必要がある。現在、広告可能な5つの機構認証歯科専門医等について各学会へ情報等の提供をお願いしているが、データの提出が遅れており、改めて資料の提出をお願いしている。また、プログラム作成に当たり、経費が多くかかるのが今後の問題である。

## 7. 関連団体との連携協力

厚生労働省，日本歯科医師会，日本歯科医学会連合等との連絡と協力が重視される．新たな歯科専門領域の専門医の誕生に向けて，より細かな意見調整が求められるので，定期的な意見交換会を今後も考える必要がある．

## 8. 事務局の体制

昨年末に常勤事務員 1 名の増員が認められ，事務能力が大幅に改善されたと思われる．今後は仕事の割り振り，情報の共有化等について業務の効率化を図るとともに，事務所の在り方についても検討が必要である．

以上